

「健康」楽しく学ぶ

宮大医学部50周年講座

宮崎大医学部・旧宮崎医
科大開講50周年記念事業

「ファミリー健康講座・め
ざせ！健康寿命日本一」は



手術道具を使って組織を縫合する手術を
体験する来場者ら＝4日午前、宮崎市・
JA・AZMホール

4日、宮崎市のJA・AZMホールであった。病気の予防や健康に関する講座や体験があり、家族連れら多くの来場者が健康について楽しく学んだ。

健康講座は医学部教授陣5人が心臓病の最新の治療や外科手術、運動機能が低下するロコモティブシンドローム（ロコモ）予防など各専門分野を分かりやすく解説。不整脈について講義した渡邊望教授は「不整脈の一種『心房細動』が脳卒中の原因になる。自分で手首の脈を測って確認して」と訴えた。

この他、来場者は心電図やロコモ度チェック、救命救急などを体験。手術道具のコーナーでは実際の道具を使い組織を縫合する手術に挑戦していた。家族3人で訪れた小林市・小林高2年杉安璃香さん（17）は「思っていたより手術は難しかった。私も健康に気を付けながら、将来は人を笑顔にできる看護師になりたい」と話した。

プロ野球・福岡ソフトバンクホークス元監督の工藤公康さんの特別講演もあった。

（中西透）